

Millefolium セイヨウノコギリソウ(Yarrow) [鮮血の出血]

Achillea millefolium L.

BACK GROUND

Millefolium は、ヨーロッパ、とくに地中海沿岸や西アジア原産で、キク科の常緑多年草です。



(K)

高さ30～120cmで、直立した硬い茎をもち、全体にちぢれた軟毛があります。和名の「セイヨウノコギリソウ」が示すように、葉は、根から生えるものは有柄、茎上のは無柄で互生します。葉は長楕円形で軟らかく、2, 3回羽状に細かく深裂か全裂して、裂片は細くなっています。

開花期は7～9月で、茎の頂部に白色の小さな頭花が多数、傘形に咲きます。頭花は5個内外の舌状花と、多数の筒状花よりなります。総包は半球形、総包片のへりは膜質で、背面には短毛があります。舌状花は雌性で、白色まれに淡紅色あるいは濃紅色をしており、冠毛はありません。花床には鱗片があります。樹脂はきつい臭いがします。種は小さくて灰褐色を呈しています。この植物は主に地下茎で増えていきます。

この植物はハーブとして、さまざまな力をもっています。たった1枚の葉を堆肥用の生原料の中に入れただけで、急速に堆肥原料の分解を促進し、また、根の分泌物は、近くに植えられた他の植物の病気に対する抵抗力を活性化させるとともに、それらの薬用成分や効果を高める働きがあります。

Millefolium は、古代ギリシアの英雄アキレスが、トロイの戦場で負傷した兵士たちの止血や治療に用いて、多くの兵士を救ったという伝説があります。学名のアキレア *Achillea* は、この伝説に由来します。種名

の Millefolium は、「1,000 枚の葉」という意味です。英語名で nosebleed というニックネームもつけられています。これは、実際に鼻血を止めるために使われていました。

メディカルハーブとして、外傷の治療や止血剤のほか、風邪の諸症状の緩和、滋養強壮、食欲の回復作用、アレルギー性花粉症、生理不順、更年期障害、冷え症、高血圧、自律神経失調症、肌のシミの改善など、多岐にわたって利用されています。とくに女性に多く利用されたといえます。

また、古くから聖なる力があるとされるこの植物の茎は、ヨーロッパではドルイド教の僧侶たちが季節の天気を占うために用いたり、中国では秦の始皇帝の時代に、未来を予言する道具としても使われていました。

この植物の有効成分は判明しているものだけでも100種類を超えます。主なものとしては、アキレイン、アピゲニン、アズレン、カンファー、コウマリン、イヌリン、メンソール、シオネール、アスパラギン酸、ケルセチン、ルチン、サリチル酸、アコニチン酸、ツヨンなどです。

MATERIAL

開花期に採取した全草

AFFINITY

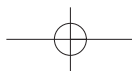
Millefolium は、主に肺、鼻、子宮の毛細血管に強い親和性をもっています。

CLINICAL APPLICATIONS

臨床では、**痛みのない多量の鮮血の出血に対して使用されます。**

■出血、外傷

- ・外傷や打撲による出血
- ・鼻出血：頭や肺の充血を伴います。
- ・咯血：初期の結核によるもの。咳に血の混じった痰が混じります。
- ・出産後の出血
- ・吐血：胃に有痛性痙攣があり、小腸から肛門まで液体が流れていくような感覚があります。胃の焼けるような感覚は、胸まで広がります。
- ・膀胱結石の手術前後：術前1週間前から始めます。
- ・血尿
- ・出血性の痔



■ 熱性疾患

- ・ 持続性の高熱

■ その他

- ・ 妊娠中の静脈瘤

■ Millefolium 特有の感覚：何か大切なことを忘れてしまったように感じる。血液が頭に上っていきような感覚。眼球内に血液が多すぎると感じます。冷たい風が耳の中から出て行く感覚。液体が胃から腸に流れていきような感覚。右のアキレス腱が強打または捻挫して以来痛む。以上があります。

MODALITY

▶ 出血, ワイン, 日中など

◀ 外傷, コーヒー, 激しい活動, かがむこと, 体を2つに折り曲げること, 横たわること, 夕方, 夜, ゆっくりとした動き, 午後4時など

出血や外傷に対する使用は, Arnica, Crotalus hor-



ridusの作用に似ています。ArnicaやPhosphorusなどとよくいっしょに使われます。

RELATIONS

- ・ Antidotes : Arum maculatum
- ・ Incompatible : コーヒー

Molybdenum metallicum モリブデン Mo [創造性]

Molybdenum-Mo

M
315

BACK GROUND

Molybdenumは、元素記号Mo、原子番号42、原子量95.94で、クロム族元素の遷移金属の1つであるモリブデンです。



モリブデンは、銀白色の硬い金属で、常温、常圧で安定な体心立方格子構造をとります。比重10.28、融点2890℃、沸点4885℃で、空気中では酸化被膜をつくり、内部が保護されています

高温で酸素やハロゲン元素と反応します。アンモニ

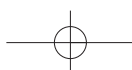
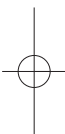
ア水には溶けて、パラモリブデン酸アンモニウムになります。塩酸や希硫酸とは反応しませんが、熱濃硫酸、硝酸、王水にも溶けて酸化モリブデンになります。

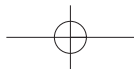
モリブデンは、ギリシア語で鉛という意味のmolybdosに由来します。もともとは、方鉛鉱をmolybdainaと呼んでいましたが、だんだん輝水鉛鉱や石墨などを含む鉛色の鉱石の総称になっていました。そして1778年に輝水鉛鉱より酸化モリブデンが抽出されて、モリブデン土と呼ばれ、1781年にはそのモリブデン土から、モリブデンが単離されました。

モリブデンは、埋蔵量は非常に少ないものの、地球上に広く分布しています。主に、輝水鉛鉱より産出されます。世界最大の鉱脈が、米コロラド州のクライマックス鉱山にあります。単体の製法としては、鉱石を燃焼して酸化物とし、高温で水素還元することで得られます。

一般的にモリブデンは、ステンレス鋼の添加元素、顔料、電子管の陽極、電気接点材料、ガソリン添加剤などに利用されています。また、⁹⁹Moは、核医学の分野でも使用されています。

モリブデンは、生体にとって必須元素です。キサン





チンオキシダーゼやアルデヒドオキシダーゼ、亜硫酸オキシダーゼなどの重要な酵素の成分になっています。その役割として、主に尿酸の生成、糖質や脂質の代謝の補助、鉄の作用を補助する造血作用、体内の銅の排泄などがあります。

微生物の窒素固定に関する、酵素ニトロゲナーゼの重要な成分でもあります。地球上の総窒素固定のおよそ70%は、このニトロキナーゼが関与していると言われています。

人の生体内ではモリブデンの毒性は低く、蓄積されません。人での1日のモリブデン必要量は、およそ0.1mg前後とされており、通常の食事によって十分摂取できるとされています。母乳や牛乳には、とくに多く含まれていて、牛乳1ℓあたりモリブデン25～75mgが入っています。モリブデンは、小腸から吸収されます。

米コロラド州のクライマックス鉱山周辺では、牛にMolybdenosisという病気が発生します。これは、この地方の牧草のモリブデン含有量が、通常の数倍から数十倍もあることに起因しています。体内に常に過剰なモリブデンが存在すると、それと拮抗関係にある銅が欠乏してしまいます。この地方の牛は、その牧草の影響によって、食欲不振、体重減少、疲労、貧血、乳生産量の低下、不妊、尿酸代謝障害、骨粗鬆症などが起こります。治療法としては、銅化合物を与えます。

一方で、モリブデンが摂取不足の場合には、骨の発育や生殖能力の低下、疲労、貧血などが起こると推測されていますが、明確には証明されていません。土壌や飲料水中のモリブデンの含有量の少ない地域では、食道癌の発生が多いという統計的研究報告もなされていますが、はっきりとした関係はわかっていません。

FIRST PROVING

1930年にDivanjiによってブルーピングされ、その後Tuminello, Gillらによって追試されました。

MIND

Molybdenumタイプは、1人であることが好きです。このタイプは、自分の創造性をいつも表現したいと思っています。ただし、なかなか確信がもてない傾向があります。創造性を実現するために、彼らは1人で挑戦します。

はじめは他人のアドバイスを聞こうとしません。そのために一見頑固に見えます。彼らは、自分ですべてできると感じていますし、他人に負担をかけて煩わされたくありません。

職業では、芸術家、音楽家、小説家、教師、研究者、



アスリートなどのタイプに多いようです。物事を行う場合、はじめは慎重になります。心の奥では確信がもてないために、簡単にできるという確信が必要になります。

このタイプは、誇りをもっていて、気軽に近寄れないようなオーラが出ていることもあります。急に怒るようなこともあります。彼らは、最終的にあらゆる賞が取れるほどの、大きな成功を夢見ています。同時に彼らは、失敗も怖れています。そのために、自分のしていることを人に見せたがりません。彼らは、静かに物事を遂行することを好み、人に見られているのを嫌います。失敗することは、彼らにとって、屈辱だからです。

人前で話をするのも苦手です。声がふるえて、喉の通りをよくしようと何度も咳ばらいをします。そして、せかせかと一度にすべてのことを話そうとするために、聞いている人が理解できないこともあります。ふだんもせかせかしていて、時間に遅れることを嫌います。

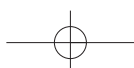
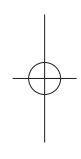
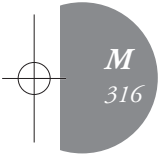
怖れは、次のようなものが報告されています。高所、狭い所、広い所、パフォーマンス、人前で話すこと、失敗、死、心臓発作、食道癌、家から遠く離れることなど。

高いところから落ちる夢や、路面電車で挟まれる夢などをみた例があります。性欲はあまりありません。体型は、太めかやせているかどちらかです。

CLINICAL APPLICATIONS

■神経系

- ・頭痛、片頭痛：前頭部の頭痛、右眼の上、こめかみが痛みことがあります。充血性で、吐き気を伴います。視力障害を伴うことがあります。痛みのある部位が冷たく感じます。氷を押しつけているような痛みを感じることがあります。
- ・めまい：浮遊感があります。急な動きで悪化します。
- ・多発性硬化症



- ・眼疾患：炎症，充血性の痛み，右眼．視力障害を伴うことがあります．字が消えたり読書がしにくい，視覚に点が見えるなど．片頭痛で悪化します．
- ・難聴：急な耳管閉塞，耳鳴り，シーツという音が聞こえることがあります．
- ・どもり
- 呼吸器系
 - ・鼻感冒：多量の黄色い鼻汁が出て，嗅覚が鈍くなります．
 - ・嗄声
 - ・気管支炎：痰で喉がゼロゼロします．痰がからんでなかなか取れません．病変が肺に至ると，胸がゼーゼーして，吸気や労働で悪化します．夜に悪化する傾向もあります．
- 消化器系
 - ・アフタ性口内炎：食事で悪化します．冷たい飲物で改善
 - ・舌炎：舌に痛みがあります．月経で悪化する傾向があります．
 - ・咽頭炎：喉の痛みで，何かが引っかかっているような感覚があります．
 - ・齲歯
 - ・食道癌

- ・便秘：腹痛を伴います．

■生殖器系

- ・勃起不全，前立腺肥大，精巣炎

■その他

- ・高血圧：動悸がして，心臓に痛みがあり，喉の左側に広がります．胸が締めつけられる感覚があります．
- ・胃炎：吐き気でクラクラします．胃に痛みがありません．腕を胃の前で組むと楽に感じます．
- ・湿疹：皮膚が乾燥しています．
- ・白斑
- ・首の痛み，肩凝り，手のふるえ
- ・足の痛み：痛みが波のように5～10秒ほど続きます．打撲様の痛みがあります．
- ・膝の痛み：膝を突くと痛みが増します．

MODALITY

- ▶ 乾燥した気候，外気，暑さ，あくび，臭い，冷たい飲物など
- ◀ 寒さ，湿気，触られること，脂っこい物など

●主なモリブデンのレメディ

Molybdenum metallicum, Molybdenic acidum, Molybdenum muriaticum

Moschus moschiferus 麝香(ジャコウ) [失神と寒さ]

Moschus moschiferus L. male

BACK GROUND

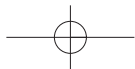
Moschusは，天然の麝香が原料になります．麝香は，ジャコウ鹿の雄の生殖腺分泌物である麝香腺と，その中に含まれる褐色から黒褐色の分泌物を切りとって乾燥させたものです．ジャコウ鹿から麝香腺ごと切り取ったものを玉麝香（別名，整麝香，整香，毛香，臍麝香とも呼ばれています．直径3～7cm），麝香腺内に含まれる麝香だけを取り出したものを身麝香（別名，麝香仁，散香，当門子など）といいます．麝香は，漢方薬として2,000年以上前から高貴な薬とされ，さまざまな薬効が知られています．

ジャコウ鹿は，ヒマラヤ山岳地帯やチベット高原地帯に代表される中国雲南，四川省，ネパール，チベット，ブータンなどの，海拔4,000～5,000mの高地に生息しており，非常に用心深い動物です．現在，ジャコウ

ウ鹿の雄の数は雌の数の10分の1くらいと言われてい

ます．ジャコウ鹿は，鹿の中では原種に近いとされ，体重は7～20kg程度です．雄雌ともに角はありません．夜行性で，食生活はさまざまな草や芽，花，岩に付いた苔などを食べています．とくにジャコウ鹿は，生息地によく生えているセリ科の植物，*Ferula sumbul*を好んで食べます．この植物の根は麝香に非常に近い香りがします．

雄は，非常に縄張り意識が強く，自分のテリトリーにある木や岩におしりを擦りつけて，臭いをマーキングしていきます．雄は3歳くらいまでに，腹部の麝香腺が発達していきます．麝香の香りは雄のジャコウ鹿が発情期に雌を誘引する目的と，縄張りのためのマーキングで発するものです．麝という漢字は鹿を射ると



書いて、この香りが矢のように遠くまで飛ぶことを表わしており、麝香の香りの強さをうまく表現しています。発情期は、1月にやってきて、雌は180日の妊娠期間を経て、1頭（稀に2頭）の仔をもうけます。生まれた子供は、はじめの2か月間を安全な隠れ家の中で過ごします。約2年で性成熟を迎えます。

麝香は、ヨーロッパでも古くから高級香水の原料として珍重され、Musk（ムスク）と呼ばれています。天然の麝香は、漢方でも重要な薬になり、非常に貴重で高価なため、近年は実際に香水などには使われることはありません。現在、香水に含まれるムスクは、人工合成された同じような香りを発するものです。天然の麝香の香りの主成分は、環状ケトンのムスコンというものですが、一般に出回っているムスクは、それに似せてつくられた環状ムスクという構造の少し異なる合成品です。

このように麝香は昔から高貴な神仙薬、媚薬、香料として洋の東西で使われ、そのために、年間15,000頭ものジャコウ鹿が殺されてきましたが、近年、ワシントン条約により捕獲が禁止されています。また、麝香自体もワシントン条約の指定品目となっていることから、輸出国の証明書付きでほんのわずかな量しか輸出入されていません。香りを非常に強烈に放つものほど、良質の麝香と言われています。

麝香の成分には、香りの主成分であるムスコンはじめとして、強い強心作用を示すムスクライドA1、ノルムスコン、ムスコピリジン、ハイロドキシムスコピリジン、アンドロスタン誘導体、男性ホルモン、C19-ステロイド、プロテインキナーゼC、ナトリウム・鉄などの各種ミネラル、パラフィン誘導体、アンモニア化合物、各種アミノ酸、コレステロールなどが含まれています。

麝香の薬理作用は、中枢興奮作用（呼吸中枢や心臓の興奮作用）、血圧降下作用、男性ホルモン様作用、抗炎症作用、抗トロンビン作用、抗ヒスタミン作用、鎮静作用などがあります。

昔から蘇生薬の代表として、また、全身の気の流れを強め、経絡の滞りを開き、生命力が極端に落ちているときに活力を与え、悪い影響を及ぼす邪気を取り除くといわれています。不老長寿から小児の風邪、解毒、精神安定、疲労回復、冷え性、呼吸困難、脳血管障害などに、幅広く使われた貴重な薬とされています。

MIND

Moschusタイプは、若い女性が多く、ヒステリーで心気症の傾向があります。わずかな刺激にも大げさに反応し、失神することがあります。とても怖がりで、

病気になるとうとう死んでしまうのではないかと非常に心配します。冷え性です。せかせかしていてすぐに興奮し、笑い出すと止まりません。短気でちょっとしたことですぐに怒ります。ひどく怒ると顔が青くなってしまうまで怒ります。性的な強い興奮を感じることもあります。食べ物では、チーズが大好きですが、食事はあまり好きではありません。ブラックコーヒーやビール、ブランデーを好みます。このタイプは、甘やかされて育った人が多く、わがままで頑固で自分のことばかり考えています。自分の気まぐれの満足のためには、ずるい手段を取ろうとします。

AFFINITY

Moschusは、主に中枢神経系（とくに感覚器と生殖器）と泌尿生殖器系、呼吸器系、循環器系に親和性をもっています。

CLINICAL APPLICATIONS

失神と寒さがキーワードです。その根底には麝香に象徴される性的なチャクラの影響が隠れています。

■神経系

- ・ **失神**：ちょっとしたことですぐ失神する場合はこのレメディです。そのため、いつも深呼吸をしたがる傾向があります。
- ・ ヒステリー
- ・ 筋肉の痙攣
- ・ 不安症：病気になるとうとうと死んでしまうと考えます。
- ・ 冷え性
- ・ 神経性のしゃっくり、心因性の聴覚障害

■泌尿生殖器系

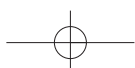
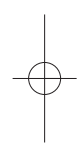
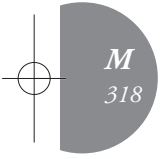
- ・ 多尿：昼の尿はきれいなのに、夜になると暗赤色になり、尿臭がきつくなることがあります。糖尿病の例もあります。
- ・ 強い性的興奮
- ・ 勃起不全
- ・ 精液漏

■呼吸器系

- ・ 喘息発作：ヒステリーによって誘発されます。
- ・ 急性の喘息発作
- ・ 咳：呼吸困難になることがあり、痰をなかなか出すことができません。

MODALITY

- ▶ 外気、さすること、暖かさ、麝香の香りを嗅ぐことなど
- ◀ 寒さ、興奮、生理、寒い外気、運動、公共の場にいること、性交、患部の圧迫、食事中と食後など



RELATIONS

- ・ Antidotes : Camphora, Coffea
- ・ Compatible : Ambra
- ・ Sumbul : このレメディは、Musk rootと言われる麝香の香りをもつ植物が原料となっています。興味深いことに、ホメオパシーでの適用はMoschusと類似しています。

参考) エドガー・ケイシーの症例で、少しのことですぐに失神してしまう例がありました。これの原因については、過去の性的な放縦に起因すると言明し、治療は成功した記録が残っています。このように失神やヒステリーは性的な問題が根底に隠れていることがあります。Moschusは、この深い部分にも作用していきます。ただし、こういった問題に絡む精神的な問題に関して、さらにホメオパシー以外の方法も併用する必要があります。

Murex purpurea ツロツブリとシリアツブリボラ [女性の不調]

Hexaplex trunculus L.
Bolinus brandaris L., Murex brandaris

BACK GROUND

Murex purpureaは、腹足綱前鰓亜綱新腹足目アクキガイ超科アクキガイ科に属する巻貝、Trunculus murexツロツブリとPurple dye murexシリアツブリボラの、2つの貝から得られる分泌物によってつくられます。ツロツブリは、主にキプロス南沿岸が原産で、シリアツブリボラは、地中海、北西アフリカの沖合の砂底に生息しています。

古代に乱獲されたために、現在では深い海でしか獲ることができません。よく間違われることがあるムラサキガイは、貝殻色が紫色の二枚貝で、貝紫が採れる巻貝とは、まったく別物です。

これらの貝からは、古代フェニキアの重要な特産品であるTyrian purpleチリアンパープル（貝紫）という染料がとれます。Tyrianは、フェニキアの貝の産地にある港の名前です（この貝紫に使用できる貝は、世界中に推定300種類以上いるといわれています）。古代フェニキアのチリアンパープルの使用は、紀元前1600年頃から始まったと言われていています。この染料を取り出すために、貝を割って加工していました。ただこれらの貝は小さいために、一度に取れる染料の量はわずかなもので、1万個の貝をつぶして得られる色素はたったの2~5gでしたから、非常に高価で貴重なものでした。そのために乱獲されて、激減してしまったようです。他の地方、たとえばアメリカの西海岸では、アメリカ先住民は、地中海の人々がやっていた貝を砕いて染料をとるような乱暴な方法でなく、綿糸の束の上に貝を置いて叩き、貝が殻に身体を引き込むときに鰓下腺から放出される粘液を糸に塗りつける、という方法をとっていたそうです。その後、貝たちは

海に戻したそうです。

これらの貝から得られた粘液に布を浸して、それを太陽に曝すという作業を何度何度も繰り返すことによって、鮮やかな紫色になります。

チリアンパープルは一度染めたら色落ちしない、希少であること、呪術に用いられたことなどから珍重され、高貴な色として高く評価されました。ローマ時代には、カエサルがチリアンパープルの服を着る権利を独占し、ローマの皇帝や元老院議員だけが用い、「帝王紫」とよばれて、皇帝の色となりました。中世では、皇帝だけでなく聖職者の高位にあるものが着用するようになりましたが、ビザンチン帝国の崩壊とともにその使用が禁止され、ほかの染料に切り換えられていきました。

チリアンパープルは、これらの貝の鰓下腺であるパープル腺にある6, 6'-ジプロムインディゴを取り出して、染色して得られる色のことです。この分泌液は酸化されると紫色に変化します。学名のPurpuraという属名は紫色という意味です。

この分泌液には、6, 6'-ジプロムインディゴのほか、セロトニン、ミュレキシン、銅、亜鉛、カドミウムをはじめとする各種ミネラルなどが含まれています。この中のミュレキシンは、クラーレ様作用やニコチン様作用が認められています。毒性はありません。

MATERIAL

分泌物を乾燥させ、乳糖と混ぜ合わせたもの

FIRST PROVING

Ptroz